

02 特別企画

武藤 好男新学長の  
素顔に迫る!

04 音楽と生きる

赤崎 夏実さん  
河村 友里絵さん

なんの楽器を  
演奏しているか  
わかるかな?

赤崎夏実さん(卒業生)と  
エア楽器演奏中の学生の皆さん

## CONTENTS

08 特集  
平成23年度(第66回)  
文化庁芸術祭  
オペラ歌手のつくりかた 他

10 Concert  
Report  
定期演奏会 他

11 キラリ★輝く  
大音の星  
・コンクール  
受賞  
・NEWリリース

12 NEWS Index  
・文化庁芸術祭  
贈呈式 他

14 CAMPUS  
Information

15 演奏会  
Information  
3月~6月

16 退任教授挨拶  
・教員リレー  
エッセイ  
井口 淳子  
(音楽学・教授)

# 武藤好男 新学長の素顔に迫る！



●むとう よしお  
1950年京都生まれ。大阪音楽大学大学院修了。一人で物を作るのが好きで、実体のない作曲に至る。「でも音楽はコミュニケーション。一人では成立しません」。

新学長はどんな人なのでしょう？  
気になるその人間像と大音への思いをお聞きしました。

## 音楽を学び、音楽への熱意を育む、 充実した教育環境を整えます

### 武藤好男の できるまで

小学生の頃は飛行機が好きだったので「パイロットになるんだ」などと無邪気に考えていました。でも、実際には大変な努力が必要だとわかって、あっさり断念。中学・高校の頃は「画家になるか詩人になるか小説を書くか……でも生活できないだろうな」というわけで、大阪音楽大学作曲専攻へ。理由は、小学生の頃に少しピアノをやっていたこととビートルズに刺激され

て楽しむという傾向が出てきています。

て、美術に比べれば競争倍率が低いという単純なものでした。

作曲の勉強を始めたのは高校3年生からです。ソルフエージュなどであることも知りませんでした。だから、音楽に対してすごくコンプレックスを持って入学しました。今から思うと、コンプレックスを克服しようという気持ちがあったから、今まで作曲を続けてこれたのだと思います。

持って生まれた才能も大きいけれど、負けるものかという気持ちでエネルギーを生みます。それか

### 音楽大学で 学ぶとどう違う？

ら続けること。まさに継続は力です。日々の練習を重ねていけば、ある日突然何かのきっかけで、一つ上のステージに跳躍できることがあります。「うまく表現できない」と悩んでいる人はそのことを信じて努力を続けてほしいですね。

西洋音楽の一番素晴らしいところは、普遍性を持っていることです。師匠から直接「秘伝」を受け継ぐのではなく、誰もが同じようにアプローチでき、努力すればそれなりのスキルが身に付く。一つのメソッドとして教育が成り立ちます。それから進歩発展の思想。「昨日より今日、今日より明日は良くなる」という考え方です。ただ、この科学技術を中心とした考え方に對して、疑問符が突き付けられているのが現代です。「環境破壊を避けつつ便利さだけを手に入れる」というわけにはいかなくなっていきます。誰もが行き詰まりを感じているこの時代に、人間性を取り戻すことが芸術の役割です。

### 03 好きな作曲家は？

- ・W.ルトスワフスキ
- ・G.リゲティ
- ・レノン&マッカートニー

### 04 好きな言葉は？

- ・「君の瞳に乾杯！」
- ・「優しくなければ生きてはいけない」
- ・LOVE, PEACE & MUSIC

### 01 好きな映画は？

- ・2001年宇宙の旅
- ・エイリアン
- ・ルートヴィヒ
- ・未来世紀ブラジル
- ・ナイトメア・ビフォア・クリスマス

### 02 好きな音楽家は？

- ・ビートルズ
- ・ビル・エヴァンス
- ・カルロス・クライバー

文化は積み重ねです。前の時代があって、それを継承発展させる、あるいは否定することにより芸術は変遷してきました。これも、根底に「芸術も進化する」という思想があったからです。しかし情報化が進むことにより、音楽を様式や歴史から切り離してコンテンツとし

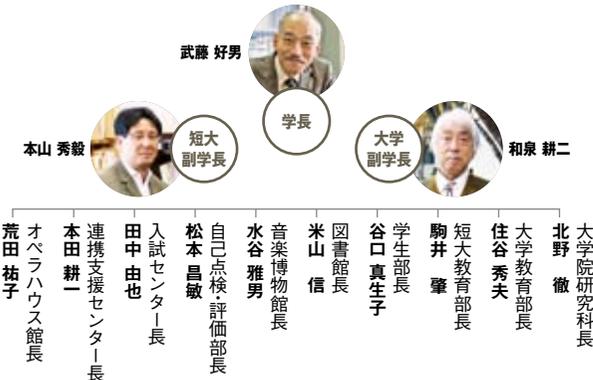
### 学長就任、 そしてこれから

まさか自分が学長に選ばれるとは思っていなかったのが、本当に驚いています。おかしな例えですが、イタズラしたのを見つけた子供のような気持ち(?)です。

今は本当に大変な時代です。こんな時代だからこそ、原点に返って教育の身を充実させる必要があります。本学は2015年に創

立100周年を迎えます。そのプロジェクトも、すでにスタートしています。改革に積極的だった中村前学長のまかれた種をしっかりと根づかせ、改めるべきは改め、教育環境を整えることに全力を尽くします。時間はかかっても、それが歴史を重ねた老舗大学のあるべき姿だと思えます。

### 2012年度 新体制



## メカ好きな私に ピッタリだったエレクトーン

午前4時に起き、5時には家を出る毎日。実は朝が弱いので目覚めてからもしばらくゴロゴロしていないと起きられないのです。でも一度起きてしまえば大丈夫。今は毎日のお仕事が本当に楽しいです。

「おはよう朝日です」のエレクトーン奏者として出演し始めて2年半。短大在学中からこのお仕事を始めたので、しばらくは大学の勉強と両立していました。番組が終わるとすぐ移動。1限目に間に合わせるためにもう毎日がバタバタの状態でした。無事卒業できたのでホッとしています。今では早起きにもすっかり慣れて、ほかの出演者の方々とともに仲良くお仕事をさせていただいています。

エレクトーンを始めたのは3歳の時。演奏しているところを見て単純に「カッコいい！」と思ったのがきっかけでした。バラエティ豊かな音を出せるし、ボタンがたくさんあってそれを全部自分で操ることができる。もともと機械に強くてメカ好きな私には、とても魅力的な楽器に映りました。

## とにかく明るい 大音の雰囲気

幼い頃からエレクトーンを続けてきましたが、ジャズも好きな音楽の一つでした。それまでは全然知らない世界だったジャズピアノにとっても興味を持ったのです。進路を考えていた高校時代、習うなら「本格的にジャズをやりたい」と思っていたところ大音にジャズのコースがあるのを知りました。「そうだ！大学でジャズを勉強しよう」と思い立ったのが、大音を受験するきっかけとなりました。

実際入学してみると、同じ目的

# 赤崎 夏実

朝日放送「おはよう朝日です」エレクトーン奏者

気が付けばずっと音楽と一緒に  
やっつけていて良かったと  
日々実感しています



を持った同世代の仲間がたくさんいて、みんなが音楽を楽しんでいる。その雰囲気がとてもよかった。勉強のためというより、音楽好きが心から音楽を楽しむために来ているのです。その環境が本当に嬉しかった。中庭を歩くとヴォーカル・コースの学生たちがハモる歌声が聞こえてきたりして、とにかく明るい雰囲気。大学だなどという印象。お世話になった先生方もとても優しく、学生と一緒に食堂でランチしていたりして、とても身近な感じがしました。私自身は受験のためにピアノを始めたようなものだったので、入学当初はまだまだ未熟。在学中はとにかくピアノを頑張ろうと思っていました。ピアノという楽器は指からダイレクトに鍵盤に感情が伝わります。人によって、また体調によっても音が変わってくるというのが不思議ですね。そこはエレクトーンにはない魅力だなと思います。

## 新しいことが大好き 行動力は人一倍！

高校時代からヤマハのお仕事をさせていた関係で、全国各地で演奏活動をしていました。それがきっかけで「おはよう朝日です」のエレクトーン奏者のオーディエ

ションを受けないかと声をかけていただきました。もともと「将来は音楽の仕事がしたい」という強い意志を持っていただけではありませんでした。今思えばずっと音楽と一緒に過ごしてきました。練習もつらいと思ったことは一度もなく、本当に楽しいことばかりだったという印象です。努力したというより「好きなことだから勝手に身に付いてしまった」と言ったらカッコ良すぎるかもしれませんね(笑)。とにかく弾けばテンションが上がる。音楽をやっつけて良かったと日々実感しています。

休みの日は家に閉じこもっていいことはまずありません。とにかくアクティブに動きまわりたい性格。新しいことを体験するのが好きなので、映画を見に行ったりゴルフをしたり。趣味がどんどん増えていきます(笑)。

もしも今のお仕事をしていなかったら、きっと世界中を旅していたと思うほど海外旅行が大好きです。去年は10日間ほどお休みがとれたのでロサンゼルスに一人旅をしました。旅行先では目的も作らず毎日街を歩き回ります。これからの行動力を生かして、音楽と人生を楽しみたいです。

▶レギュラー出演中の「おはよう朝日です」(朝日放送 月～金 午前6:45～8:00)のスタジオで、番組キャラクターのおき太君と一緒に



◀大音での思い出の場所、K号館行きバス乗り場。「よく一人でバスを待ちました」



●あかさき なつみ  
2010年3月大阪音楽大学短期大学部ジャズ・コース卒。在学中の2009年9月より朝日放送「おはよう朝日です」のエレクトーン奏者・リポーターとして活躍中。



## 人生の節目に立ち会いたい

「自分らしさを生かしているなど実感するのは、リズム感やセンス、そして魅せることを根底に持った強さを意識する瞬間。音大で培った感性が根付いているから、仕事をしても『いまリズムが悪いな』と気づくことができる。すると、自分から波を作っていけるんです。真つすぐな眼差しが見据える先には、一体何があるのか。」

サポート行政書士法人は、大阪に本部を置き、全国展開する行政書士事務所。各企業が事業を行うための許認可手続き、外国人のビザ手続き、相続手続きなどを行っている。河村さんは、大阪市中央区にある大阪オフィスで、マーケティングとブランディング（企業ブランド力の構築）

採用という3つの仕事を担う。

「これら3つの仕事は、それぞれ別の部署が担当するのが普通ですが、実は切り離すことが難しい。マーケティングでお客様を集める一方、良い人材スタッフを集めるためには、ブランド力を高める必要があります。広い意味では、すべて人を集めることにつながりますから。」

ブライダル業界から、転職サポートを経て、この業界に飛び込んで4年。「私は、常に人々の人生の節目に立ち会いたい、という気持ちがあります。今の仕事もそう。お客様の期待以上に依頼された仕事をやり遂げて感謝されたり、自分の関わった仕事で、問い合わせの件数に反映されたりすると、とてもやり甲斐を感じます」。柔らかな表情で語る言葉の端々に、誇りと自信がにじむ。

## 人生で一番しんどかった！ 充実の大音生時代

音楽は、常に身近だった。2人の姉と共にピアノを習い、常に音楽が流れていて「しーんとしている瞬間が、少しもない」家庭に育った。「レコードがたくさんあって、朝食の時は『クラシックを流そうか』とか、家族でパーティーをする時には『こんな音楽が雰囲気



時代に求められているのは  
独特の感性や  
リズム感を生かすこと  
それができるのが音大生の強み

# 河村友里絵

サポート行政書士法人勤務

気に合うかな」とか……ジャズも、ハワイアンも、歌謡曲も聴きました。特定のジャンルに偏っていませんでした。でも、良かったと思います」と振り返る。

早く社会に出て仕事をしたい、と考えていた河村さん。「だから、単に『皆が行くから』と流されて大学に入るのは嫌だった。ただ、高校の時にヴォーカルのレッスンを始めていたので、専門的に学んで形にしたいという思いがありました。そんな私にとって、選択肢は音楽大学しかありませんでした。」

こうして選んだ、2年間の音大生活。彼女にとっては「人生で一番しんどかったくらい(笑)」充実した日々だった。その理由の一つが、教職課程を履修したこと。「2年制では正直とても大変なのですが、教職課程で文化としての音楽の位置づけを学んだことで、広い視野が持てた。とりわけ『何かを伝えたい』という思いが、音楽になったことが理解できて、より深く関われるようになりました。今も、自分と音楽は決して切り離せないですね。」

## 「私らしさ」を 表現していきたい

「一般大学と違って、仲間でありながらライバルという意識も強く、い

い刺激や緊張感がある」と大音の雰囲気を感じる。一企業の採用担当者として、いま実感するのは「音大生の強み」だと言う。「知識や学力を問う時代ではなくなっています。求められているのは、むしろ独特の感性やリズム感を生かせること。それができるのは、音大生の強みだと思いますよ。『自分がどうしたいか』『社会に対して、どんなイメージを持っていくか』に触れるタイミングが、学生時代に持てれば良い。『とりあえず就職』という感覚では、難しいと思います。」

そんな河村さんにとっての「夢」とは何なのだろう。「ジャズやポピュラーには譜面があっても、その人らしい表現やアドリブが重要。社会にも守るべきルールがあって、それを外すことなくアドリブを効かせ、自分らしくアレンジしていく。一流のプレーヤーには『彼にしか、出せない音がある』『彼女じゃなきゃ、表現できない』という音楽があるのと同様、『私らしさ』が仕事や今後の生きざままで出してゆければ、と願っていますね。」

真つすぐな眼差しに向こうには、充実した人生という究極のナンバーを謳い上げる、自らの姿があった。インタビュー文 寺西 肇 音楽ジャーナリスト



▶セミナー講師として勤務中の河村さん



◀在学中、野外コンサートに出演したときのもの



●かわむら ゆりえ  
2006年3月大阪音楽大学短期大学部ポピュラー・コース（ヴォーカル）卒。ホテルにてブライダルプランナーを経験後、現職。現在は経営管理本部・シナジーマーケティング部主任として採用、マーケティング、ブランディングに携わる。

芸術祭  
優秀賞  
受賞

「リサイタル」が芸術祭優秀賞を受賞。岡原慎也教授のピアニストとしての生きざまと、演奏家を目指す人への熱いメッセージをいただきました。

自分を信じる  
強い心を持ってほしい



岡原 慎也教授

もともと賞にはあまり興味がないんです。今回の賞もコンサートの主催者が応募していたので、後で聞いてびっくりしたというのが正直なところです。

大学を卒業後、ドイツに留学していた時に現地で出会った演奏家たちの「芸術は年を重ねるごとに深まるもの。だから50歳、60歳になって一つの世界ができればいい」という考え方に影響を受けました。目先のことにとらわれず、長い目を持って活動をしていきたいと常に思っています。

若い頃はお金がないから「あれもできない、これもできない」という人も多いかもしれませんが、本当にやる気がある音楽で食べていこうとするならば、頭をフル回転させて「どうやってこの世の中を生き抜いていけるか」を考えること。途方もなく大きな夢を持ち、その夢を実現するためには何をしなければならぬか。考えながら、一つ一つ行動に移していく。そのために必要なのは、ポジティブな考え方と好奇心。感性のアンテナを張って新鮮な気持ちで物事を見ること。そして自分の可能性を信じる強い心を持ち続けることが大切ですね。



芸術祭  
大賞  
受賞

B. プリテン作曲 オペラ「ねじの回転」出演者に聞く！

オペラ歌手の づくりかた

イメージトレーニングが  
緊張を解く



ミス・ジェスル役 藤原 未佳子さん

私の演じた「ミス・ジェスル」はとにかく女らしい妖艶な役。実は私の性格から一番遠いキャラクターなんです。稽古中からヘアスタイルや服装をエレガントにしたり、メイクを少し濃くしたり。そうやって本番に近づくにつれて役になりきるのはおもしろかったです。

私は緊張しやすいので、本番の前日によくイメージトレーニングをします。実際歌っている姿をこと細かに頭に描く。すると緊張感も少しほぐれて楽になれるんです。



「今やりたいこと」を  
大切にしたい



クイント役 中川 正崇さん

さまざまな雰囲気を敏感に感じ取り、舞台上で繊細に変化していくのがオペラの魅力だと思います。学生オペラを経験してからその魅力にすっかり虜になりました。

僕は目標を決めたら、それを達成するために「今何をすべきか」「何をしたいのか」と自分の心に素直に耳を傾けて、それを実行することを大切にしています。「オペラをやりたい」と決めたら、やるべきことはたくさんあります。経験は糧。何でも挑戦してみてください。



▲歌手はもちろん指揮者・管弦楽・照明・演出と劇場空間全体の完成度が高く評価され今回の受賞につながりました。(贈呈式の様子はP.12「NEWSIndex」に掲載)

指揮：十東 尚宏  
演出：岩田 達宗  
制作統括：荒田 祐子

人と一緒に作り上げる  
舞台こそオペラの魅力



グロース夫人役 小西 潤子さん

オペラの楽しさを知ったのは大学院生の時。ただ歌うだけじゃない、芝居をしながら人と一緒に舞台を作り上げる楽しさを経験し、改めてオペラに魅力を感じました。

オペラには歌だけでなく、時代背景や物語があります。これから取り組みたい方は、アリアだけを練習するのではなく、原語の発音や題材の研究など作品まるまる1本を勉強してみてください。あとは「風邪をひかない」と信じて神経質にならないのが私流の健康法です。



役柄について  
深く考えることを大切に



フローラ役 高山 景子さん

今回の舞台では、本当に出演者もスタッフもみんな結束が固く、うまく輪ができていました。そんな雰囲気が受賞につながったのかなと思っています。

稽古に入ると役柄について深く考えることを大切にしています。そのために意識して人間観察をすることもあります。オペラ歌手を目指す皆さんには、興味のあることだけでなく、興味がないと思って「何でも経験してみる」という気持ちで、さまざまなことに進んで挑戦してほしいです。



音楽のおかげで豊かな人生  
歌をやっていてよかった！



プロローグ役 柏原 保典さん

オペラハウス合唱団に入ったことがオペラを始めるきっかけになりました。僕の場合は、1日でも声を出さなかったら取り戻すのに時間がかかってしまうので「毎日2時間程度の練習」は欠かさず学生時代から続けています。

これからも僕にできることがあればオペラは続けていきたい。音楽を続けることで、常に目標を持って過ごし、ステージに立てば充実の時間を持てる。豊かな人生だなとつくづく思います。



健康の秘訣は  
毎日のストレッチ



女家庭教師役 井岡 潤子さん

10年振りのザ・カレッジ・オペラハウス公演への出演。そしてこのような賞をいただけたことが大変嬉しいです。キャスト全員が家族のように仲が良く、楽しくお稽古したおかげかなと思います。

私自身は家庭の事情もあり、歌えない時期もあったにもかかわらず、自然な形でオペラに復帰できたことが何よりです。オペラは体が資本。学生時代からスポーツで鍛えています。毎日のストレッチを欠かさないことが健康の秘訣だと思います。



自分とは違う人生を  
生きられることが魅力



マイルズ役 植田 加奈子さん

マイルズが自分に乗り移ってしまったのではないかなと思うほど、役柄に入り込んでしまった今回の作品。明日歌えなくなっても悔いがないというくらい頑張ることができたのも、共演者や周りのスタッフのおかげだと思っています。

自分とは違う人生を舞台上で生きられるということが、オペラの大きな魅力。新しいことが好き！なんでも経験してみたい！という私の中にあるじゃじゃ馬な気質が役作りに一役かっているのかもしれない。



祝! コンクール受賞 各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介

第18回日本歌曲コンクール

声楽部門 第2位 2011年9月26日(津田ホール)

誰も演奏したことのない歌曲を演奏できる、という珍しい要項に惹かれてエントリーしました。そこには経験したことのない非常に刺激的かつ創造的な作業が待っていました。「今の自分らしい歌」を歌うことができたのでは、と思っております。



西尾 岳史  
(98年大専修・声楽)

第10回宝塚ベガ学生ピアノコンクール 大学生部門 10月9日(宝塚ベガ・ホール)

第1位 林 加菜(短2・ピアノ)

聴いている人が楽しくなる演奏をいつも目指しています。1位をいただいたことはもちろん、演奏後、知らない方から「あなたの「ハンガリー狂詩曲12番」とても良かったよ」と声をかけていただいたことはとても嬉しかったです。



第2位 根本 みずぎ(大4・ピアノ)

演奏順はグループの中で一番目、自分の前に演奏する人がいないので、まささらな状態で自分のリサイタルのような気分です。演奏することができました。大好きな曲でしたが、まだまだ課題があるのでさらに磨いていきたいです。



第28回「アジア国際音楽コンサート」オーディション

銅賞 10月29日(ザ・フェニックスホール)

ダイナミックかつ緻密な演奏ができるように意識して本番に臨みました。今回演奏した曲は舞台で何度か弾いてきましたが、納得のいく演奏ができず悔しい思いをしてきました。この度は受賞することができ、とても嬉しいです。



姫島 亜依  
(11年大卒・ピアノ)

第21回日本クラシック音楽コンクール 全国大会

木管楽器部門 大学女子の部 第2位(1位該当者なし)  
12月8日(かつしんシフォニービルズアイスホール)

このコンクールで、私がとても好きな曲を演奏しました。楽しんで演奏することができたので、それが評価につながり、大変嬉しく思います。これを糧に、また頑張っていきたいと思っております。



山本 聡美  
(大4・クラリネット)

第7回エルビス声楽コンクール

ソプラノ(声楽部門) 第2位 (1位該当者なし)  
12月20日(クレオ大阪東ホール)

今回の演奏では聴いている方々一人ひとりの心に語りかけることを一番大切にしました。また、情熱も伝わらなければ心に響く演奏はできません。これからも日々精進していきたいと思います。



大崎 友美  
(09年大専修・声楽)

クオリア音楽フェスティバル第2回オーディション

弦楽器部門(大学一般の部) 第3位  
12月24日(茨木市市民総合センタークリエイティブセンター)

曲や音に対してははっきりとしたイメージを持って練習を重ねるように心がけました。本番では緊張以上に「音楽を伝えたい」という気持ちが強く、集中して弾き切ることができ、納得のいく演奏で受賞することができました。



農頭 奈緒  
(院1・ヴァイオリン)

第5回ベータンピアノコンクール全国大会

連弾D部門 第1位 12月25日(曳舟文化センター)

デュオを結成して3年、1位を目指して練習をしていましたが「1位」と発表された時は感激でした。二人の呼吸を合わせて音を作るのは大変でしたが、心強い相手のおかげで入賞できました。



湯川 由夏(00年大卒・ピアノ)

連弾は二人の心を合わせるのが重要ですので、本番では集中してお互いの音を聴くことができとても良かったです。この受賞を糧としてさらなる進展へとつなげていきたいと思っております。



全日本芸術コンクール第1回全国大会

ピアノ部門 銀賞  
12月27日(府中の森芸術劇場ウィーンホール)

ロマン派要素の強い現代作曲家のS.バーバーの曲を選びました。ダイナミックさと叙情的な部分の対比を表現するのが大変でしたが、曲の魅力を引き出せるよう工夫して演奏しました。



松浦 愛美  
(大3・ピアノ)

コンコルソ MusicArte  
クラウラ部門 第2位

2012年1月8日(イタリア文化会館アンジェリホール)

コンクールの雰囲気になれない心がかげました。「未熟な部分を恐れるより、今の自分で精一杯ぶつかろう!」と思って挑みました。たくさんの出会いがあり、いろいろなものを得ることができ、自分の肥やしになりました。



日隈 葉子  
(大2・声楽)

第17回KOBEL国際音楽コンクール  
声楽C部門 最優秀賞・兵庫県知事賞・  
タカハシパール賞

2012年1月9日(神戸文化ホール中ホール)

年明け早々のコンクール。自分を追い込み、年末年始は休む間もなく猛練習! その結果、とても嬉しい2012年のスタートとなりました。大学時代にお世話になりました先生方に、この場をお借りし深く感謝申し上げます。



森井 美貴  
(09年大専修・声楽)

Topics 01 卒業生がなんと教科書に!

機貝たかあきさん(94年短卒・声楽)が所属するジャズ・ヴォーカルグループ「BREEZE」が教科書に取り上げられました。

2012年度に大学で使われる英語の教科書の「JAZZ」の項目に、若手代表のジャズ・グループとしてその活動や歴史が写真入りで大きく掲載されています。

現在活発にライブ活動をしている「BREEZE」。ぜひ注目してみてください。

<http://www.breezejazz.com/index.html>



▲一番右が機貝さん

Topics 02 新国立劇場に大音関係者大集合!

東京・新国立劇場での「ラ・ボエーム」公演日に「沈黙」の練習日が重なり、大音関係者がたくさん集まりました。

写真左より新国立劇場オペラ研修所3年生の西村圭市さん(院修了)、「ラ・ボエーム」に見に来た林佑子さん(院1)、「沈黙」に出演の榎貴志さん(学部卒)、石橋栄実助教、新国立劇場舞台監督の斉藤美穂さん(院修了)、「沈黙」に出演の小餅谷哲男講師、「ラ・ボエーム」に出演の晴雅彦准教授、そして「ラ・ボエーム」「沈黙」共にコンサートマスターをつとめた故・廣岡教授(声楽)の御息・廣岡克隆さん(東京交響楽団)。



NEWリリース 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などを紹介

新刊



「CDでわかるベートーヴェン鍵盤の宇宙」(CD付)

編著:仲道 郁代(ピアノ・特任教授)  
発売中:1890円(ナツメ社)  
全国の書店、アマゾンで販売中

L.v. ベートーヴェンのピアノ曲に積極的に取り組んでいる仲道先生の編著と演奏による新刊です。第1部では「悲愴」「月光」「熱情」などの名曲が詳細に解説され、第2部では

L.v. ベートーヴェンの生涯が豊富な図版や写真とともに紹介されています。私も「没後のベートーヴェン」の項目とコラムを何本か執筆させていただきました。(西村 理 音楽学・助教)

ひとこと Muse

表紙に登場していただいた学生の皆さん。実は専攻・コースそれぞれ専門の楽器を弾く姿のポーズをとっていただきました。ピアノや電子オルガン、キーボードなど同じ鍵盤楽器でもかなり姿勢が違いますね。全部分かりましたか?

Concert Report

注目の演奏会や公演の様子を紹介します。

第54回

定期演奏会

2011年12月2日(金)  
ザ・シンフォニーホール

ソリストの福田進一客員教授がJ.ロドリゴの「アランフェス協奏曲」を熱演。ほかに伊福部昭の「交響譚詩」、J.ブラームスの「交響曲第2番ニ長調 作品73」をプログラムに取り上げ、創立100周年プロジェクトの幕開けとなった2011年度の定期演奏会は大盛況のうちに幕を閉じました。



2011年11月25日(金) ミレニアムホール

第34回 邦楽演奏会

邦楽専攻生と教員による演奏会です。「アジアの中の日本音楽 世界の中の日本音楽」というテーマで、宮城道雄の「春の海」をヴァイオリンやフルートの演奏で聴き比べるなど沢尻な企画が実現しました。



2012年2月18日(土)・19日(日) ザ・カレッジ・オペラハウス

第23回 学生オペラ「魔笛」

指揮 小田野宏之(特任教授)、演出 中村敬一(講師)のもと、大学、大学専攻科、大学院から選抜された学生によるキャスト、大阪音楽大学合唱団、大阪音楽大学管弦楽団による演奏でW.A.モーツァルト「魔笛」を熱演しました。2015年に迎える、創立100周年プロジェクトの一つとして位置づけられたこの公演。2日間とも満員の客席から拍手が鳴り止みませんでした。



2012年2月15日(水) ミレニアムホール

ジャズコース・コンサート

前半はコンボ(小編成)、後半はビッグバンド。応援の管楽器専攻生も交えた大編成で迫力の演奏を繰り広げました。



2012年1月22日(日) ザ・カレッジ・オペラハウス

電子オルガンコース・コンサート  
「フライング・ライブ 2012」

ソロとアンサンブルによる演奏会。電子オルガン台による演奏は圧巻!



2012年2月23日(木) ミレニアムホール

ミュージカルコース公演 第1回試演会「あの鐘を鳴らすのはあなた」

仕事にも恋にも悩みを抱える女性が主人公のショート・ストーリーを「雨の御堂筋」や「大阪で生まれた女」など70年代Jポップの名曲で綴ったステージ。1年間の集大成を披露しました。



2012年1月28日(土) サンケイホールブリーゼ

ポピュラーコース・コンサート

ポピュラーコース2年生全員による感動のフィナーレで締めくくられました。



ひとこと Muse

皆さんにも思い入れのあるこの1曲! というのがあると思います。P.6に登場してくれた河村さんはマライア・キャリーの「HERO」だそう。「入試の時にも歌ったので、今でもイントロを聴くとドキドキする(笑)」んですって。

## 大音と大阪大学のコラボ企画 待兼山クリスマス コンサート2011開催!

豊中市にある2つの大学がそれぞれの持ち味を生かして地域の文化振興に貢献したいとの思いから、阪大との共催で実現した「待兼山クリスマスコンサート2011」。昨年12月18日(日)、大阪大学会館講堂(豊中キャンパス)にて開催されました。大阪大学のアカペラグループ(Moscow Music)のクリスマスソング

からスタート。そして本学のクラリネット・オーケストラによるスウィング・ジャズの演奏。最後は音楽専攻の学生も加わり、参加者全員で「ベリリヴ」を合唱。ステージは大盛況のうちに幕を下ろしました。



▲感動のフィナーレ!

## 100周年記念事業 日野原重明さん大学院特別講義開催

多彩な分野から一流の専門家を招いて行われている大学院の講義「芸術文化の諸相」。2011年度の最終回となった1月13日(金)、昨年100歳を迎えられた聖路加国際病院理事長・名誉院長の日野原重明さんが「人間にとってもアートとは「生きる源」と題してミレニアムホールで講義を行いました。10歳の時に宣教師にピアノを習ったことなど自身の音楽体験や「正しい呼吸法がコ

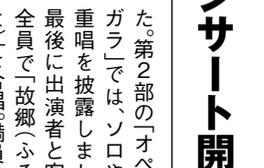


ソ」という健康についてのアドバイスなど、90分間休みなしで話題豊富な講義が続きました。

▲舞台上をあちこちに動き、手振り身振りも交えながらの講義

## 第45回幸楽会 ニューイヤークンサート開催

1月15日(日)幸楽会コンサートがザ・カレッジ・オペラハウスにて行われました。第1部は「ピアノ・アンサンブル」。4人の出演者が1台6手、2台4手、2台8手とそれぞれ組み合わせを変え白熱の演奏。G・ホルストの「惑星」やE・エルガー「威风堂々」などを演奏しまし



た。第2部の「オペラ・ガラ」では、ソロや二重唱を披露しました。最後に出演者と客席全員で「故郷」ふるさと」を合唱。満員の客席から美しい声が響きました。

▲白熱の演奏に客席から大きな拍手と声援がわき起こりました

## 文化庁芸術祭贈呈式 芸術祭大賞にオペラ「ねじの回転」 優秀賞に岡原慎也教授

1月23日(月)、シエラトン都ホテル大阪にて文化庁芸術祭の贈呈式が行われました。歌手陣、指揮と管弦楽、照明そして演出において完成度の高さを評価されたオペラ「ねじの回転」が芸術祭大賞を受賞。演奏家の飽くなき探求心を見せつける公演」と評価された岡原慎也教授(ピアノ)の「ピアノリサイタル」(ともに昨年10月公演)が芸術祭優秀賞を受賞しました。音楽部門の洋楽で受賞したのはこの2組のみで、本学独占のダブルの受賞となりました。



▲賞状を受け取る中村孝義理事長学長



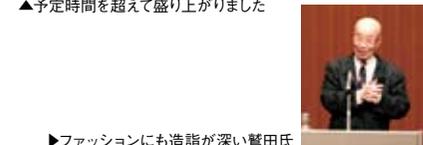
▲金色に輝くトロフィー

## 2011年度創立100周年記念プロジェクト「世界×音楽」 鷲田清一さんの講演と対談が実現

2015年を迎える創立100周年記念プロジェクトの一つとして、哲学者で大谷大学教授である大阪大学前総長の鷲田清一さんによる講演と、本学の中村孝義学長との対談が、1月31日(火)にミレニアムホールにて行われました。「音楽は耳で聴くものなのか」を題材に「物体としての体より遥かに深いところでテクスチャ(肌触り)を感じるのが音楽」と自らの音楽体験を語ってくださった後、中村学長との対談では「頑固にあと100年は続けてほしい」と大音にエールをいただき、締めとなりました。



▲予定時間を越えて盛り上がりました



▶ファッションにも造詣が深い鷲田氏

## 図書館活用術 vol.02 調べ物から軽い読み物まで一使ってトクしよう!

「そもそも本なんて読まない」「活字アレルギーなので」と言っている皆さん。大学の施設である図書館を使わないとソンなのです。読書しないから行く必要がないと思っている方、図書館にはほかにもたくさん利用価値があります。

例えば新しい曲を練習する時。DVDやCDのブックレットには、詳しい解説がある場合が多いので、曲解説や歌の対訳などを調べたい時に便利です。また歌曲やオペラは、題材となっている詩や小説を読むことによってより深い理解を得ることができます。

もっと気軽に読みたいなら「音楽家の名言」シリーズなんていかがでしょう? 図書館には全3巻そろっていて、ちょっとした空き時間に軽く読めます。

探している資料が見つからない、読みたい本が検索できないなど困ったことがあれば図書館員に話しかけてみてください。気さくに答えてくれること間違いナシです。



▲「音楽家の名言」シリーズ全3冊(請求番号)762.8/200/1、762.8/200/2、762.8/200/3

## 研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室におじゃまします!

今回お訪ねしたのは……  
田中 由也 教授  
(担当科目「音楽」「オペラ研究」  
「演技演習」「文化とオペラ」ほか)  
D号館313号室

## 癒されるレッスン室は「ブーさん」も居心地がいい!?

中庭から自分のレッスン室を見上げた時、我ながらびっくりしました。ブーさんの背中がズラッと並んでいるのがこんなに目立っているのですから。「どんなお部屋なんですか?」ってよく聞かれます。皆さんも気づきましたか?

昔、教えていた学生に「先生は「くまのブーさん」に似ている」と言われたことからブーさんグッズをよくいただくようになりました。この部屋に引っ越してちょうど1年。フローリングの床とソファがまるで「他人の家のリビングみたい」と言われます。「癒される」と学生たちに評判がいいですね。窓の二重ガラスの間に、たまっていた大量のぬいぐるみを置いてみたらこれがちょうどいい。すっかりこの部屋に定着してしまいました。

僕のレッスンは「いい状態をいかに引き出せるか」を重要視しています。僕自身もネガティブな言葉は使わない。いかにいい環境でいい精神状態でいられるか、この部屋の居心地にも表れているのかもしれない。

▶窓際に整列した「くまのブーさん」たち



## Daion Report ~海外見聞録~

学生が見た!聞いた!海外体験をお送りします。

### 栗脇 紀奈さん(大4・作曲)

### 街もアート! 刺激的なフランスの日々

11月半ばから3ヵ月間、フランスのCRR de Boulogne-Billancourtの作曲クラスへ念願の短期留学をしました。主に個人レッスンと作曲クラス向けの分析の授業を受講したのですが、日本との違いが毎日がとても刺激的でした。例えば、分析の授業は1コマ約3時間もあります(日によって変わります)。そして私の受講期間中に2回も外部から作曲家を招いて、その方の作品について直接分析をしていただく機会もありました。特にこの授業は、フランス語もまだまだ理解できていない私にとってはとても難しく感じましたが、今現在のフランスの音楽を身近に知る機会となり、とても良い経験になりました。また、街を歩くとそこは美術館?と思うほどアートにあふれています。思わずさっさと笑いたくなるようなかわいいマンガ風の道路標識やドアの持ち手が受話器になっている電話ボックス、ちょっと傾いておじぎをしているみたいな電灯など。見ているだけで楽しくなるようなものがたくさんあり、さすが芸術の都と言われるだけあるなと思いました。温かいフランスの人々との交流もできた今回の留学は、今の自分をよく知るきっかけにもなり、大変素晴らしい経験でした。



▲帰国前、友人たちが開いてくれたパーティで



▶街で見つけたかわいい道路標識

## 第3回 庄内グルメ探訪

大音生が愛してやまない庄内のおいしいものを紹介。美しい音楽はおいしい食べものから……

### カフェ シックム

▶デザートセット 850円  
サラダ、週替わりパスタ(リゾット、カレー or ハヤシライスの中から一つ)、デザート、チャイ  
※ほかにサラダセット700円もあります

### デザートのケーキまでオシャレでおいしい!

庄内にこんなにステキなお店があったなんて!と驚くくらいにオシャレです。ランチのサラダはドレッシングがおいしいし、パスタは具も多くて食べ応えがあります。特にデザートセットのケーキとチャイが人気。大学から近いので空き時間を利用して行けるところもいいですね。パスタ好きの友人が多いのでみんなにオススメしています。

カフェ シックム  
豊中市庄内西町2-17-2  
大学から庄内駅へ向かう住宅街の細い道沿い。大学から徒歩約3分。  
TEL:06-6331-0577  
営業時間:11:30 ~ 15:00 (L.O.14:30)  
ディナーは予約のみ  
定休日:日・祝(土曜日は不定休)



船山 葵さん(左)  
繁田 安里さん(右)  
(ともに短大ピアノ)

演奏会やオペラなど、大音関連の魅力的なイベントを紹介します。

# 演奏会 Information

3月 6月

●=出演者 ■=場所 ○=入場料 □=問い合わせ先

\*1:MH=ミレニアムホール※2:OH=ザ・カレッジ・オペラハウス

### 大阪音楽大学主催公演

**大阪音楽大学短期大学部 2011年度 卒業演奏会**  
2011年度成績優秀者による演奏会  
第一夜 3/14(水)18:00 ~  
第二夜 3/15(木)18:00 ~  
OH ●無料(要整理券)

**大阪音楽大学 2011年度 卒業演奏会**  
2011年度成績優秀者による演奏会  
第一夜 3/16(金)18:00 ~  
第二夜 3/17(土)18:00 ~  
OH ●無料(要整理券)

**第1回ミレニアムピアノコンサート**  
5/17(木)17:00 ~  
●鳥居 知行、岸澤 佳司 ■MH ●無料

**第32回ミレニアム・シュテudent・コンサート**  
5/21(月)、5/23(水)、5/24(木)18:00 ~  
●未定 ■MH ●無料(要整理券)

**第2回ミレニアムピアノコンサート**  
6/5(火)17:00 ~ ●未定 ■MH ●無料

**第33回ミレニアム・シュテudent・コンサート**  
6/18(月)、6/20(水)、6/21(木)18:00 ~  
●未定 ■MH ●無料(要整理券)

**ミレニアムホール推薦コンサート**  
6/30(土)17:00 ~ ■MH ●1000円

問い合わせ先: 大阪音楽大学コンサートセンター  
TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

### 大阪音楽大学後援演奏会

**大竹 道哉ピアノリサイタル** 3/18(日)15:00 ~  
■デザインホール大阪 ●一般3000円、学生2000円 □m-chtake@risoonne.jp

**松永 京子&次郎丸 智希デュオコンサート第1回**  
3/20(火)15:00 ~ ■トントレフ・ヒコ ●2000円 □080-3118-2321(松永 京子)

**丸山 耕路ピアノリサイタル** 3/21(水)19:00 ~  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3000円(当日3500円) □06-6153-0503(大阪アーティスト協会)

**クラリネットアンサンブル「中村真美&コピーヌとコパン」**  
10周年記念コンサート 3/22(木)19:00 ~  
●中村 真美と門下卒業生・現役生有志  
■宝塚ベガホール ●一般2500円、学生1500円(当日3000円/2000円) □nakamura.mami.copicipa@gmail.com(中村 真美)

**フルーツアンサンブル**  
第4回SAKURAジェンス定期演奏会  
4/1(日)14:00 ~  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●平岡 洋子、松林 靖子、吉岡 美恵子 ●2500円(当日3000円) □p.sakura.H@gmail.com

**岩本 敏子メゾソプラノリサイタル** 4/25(水)19:00 ~  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3500円(当日4000円) □06-6445-2823(関西二期会)

**サブライムコンサート** 5/4(金・祝)14:00 ~  
●藤原 啓子、高岡 充子、毛 翔宇  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3000円 □090-5067-1190(Keesper Labo)

**第2回あらかしホールクラシック音楽祭**  
5/13(日)14:00 ~  
■山本 正三、ノーマン・シュトラ、勝 桂子 ●大淀町文化会館 ●2000円 □0747-52-5758(実行委員会 東)

**にっぽんの歌〜童謡と唱歌〜** 5/14(月)18:30 ~  
●田邊 織恵、橋本 恵史、小林 映介  
●鳥取わらべ館 いべんとほーる ●2000円 □0857-23-1331(アコヤ楽器店)

**ピアノ ソロ&デュオコンサート** 5/18(金)19:00 ~  
●山内 美奈、丸山 耕路 ■ザ・フェニックスホール ●4000円(当日4500円) □06-6854-5848(モディスムジカインターナショナル)

**関西オーケストラプロジェクト2012** 5/19(土)15:00 ~  
●指揮:秋山 和慶、関西フィルハーモニー管弦楽団 他  
■いずみホール ●5000円 □06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

**第43回 関西現代音楽交流協会音楽会**  
5/27(日)16:00 ~  
■トントレフ・ヒコ●一般3000円、学生2000円 □072-794-3824(梶山 拓也)

### 幸楽会後援演奏会

**Elfe ピアノデュオコンサート10th** 3/25(日)14:30 ~  
●池尻 純子、金森 由紀子、中谷 公日佳、松本 恵子、山崎 容子、綿田 真弓  
■伊丹アイフォニックホール ●1000円 □elfe\_piano@yahoo.co.jp

**Spring Concert in 高槻 香うらら**  
3/27(火)13:00 ~、15:30 ~ (2回公演)  
●女声合唱団エコ・エレガント ■Studio73 ●2000円 □06-6871-3206(エコ・エレガント事務局)

**メビウスサクソフォンアンサンブルコンサート2012**  
3/30(金)19:00 ~  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●一般2000円、高校生より1000円(当日2500円/1500円) □080-3855-0216(メビウス)

**ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル 滋賀特別公演**  
4/1(日)14:00 ~  
■葉東芸術文化会館さきさき中ホール ●一般2000円、学生1500円(当日2500円/2000円) □090-1240-9907(ミ・ベモル事務局)

**神田 裕史 テノールリサイタル** 4/5(木)18:30 ~  
●神田 裕史、幸野 紀子、増井 一友  
■うはらホール(東灘区民センター5F) ●3000円 □080-1459-5577(神戸オペラカンパニー)

**大園 享子 帰国記念ピアノリサイタル** 4/12(木)19:00 ~  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●一般2500円(当日3000円)、学生1500円 □06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

**宇留嶋 美穂 ソプラノリサイタル & うたごえ**  
スプリングフェスティバル  
4/15(日)14:00 ~  
●宇留嶋 美穂、河合 摂子、石原 光世、青木 耕平、山鹿 歩未  
■ザ・フェニックスホール ●4500円(当日5000円) □06-6382-7243(大阪シニアアカデミー)

**奥 幸代ヴァイオリンリサイタルVol.2** 4/27(金)19:00 ~  
●奥 幸代、永坂 恭子、中島 裕 ■サンスクエア堺 ●2500円 □090-4907-6071

**H・ヴィラ・ロボストと山田 耕作**  
クラウドティ・ソアラレス ピアノコンサート  
5/16(水)19:00 ~  
●クラウドティ・ソアラレス、松永 栄子、浜川 潮、田所 清克  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●4000円(当日4500円) □0798-68-0255(芸術文化センターチケットオフィス)

**ココットコンサートVol. 1** 5/25(金)19:00 ~  
●桑井 謙三、松村 雅美、真壁 泰江  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3000円 □06-6972-0404(倉谷音楽事務所)

**歌の花束〜高須禮子先生大阪音楽大学退任を記念して〜**  
6/30(土)15:00 ~  
●高須 禮子、関口 康祐、村崎 愛 他  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ●3000円 □050-5510-9645(大阪アーティスト協会)

### 学生自主演奏会

**第53回オペラ研究部2012研究発表会**  
W. A. モーツァルト「フィガロの結婚」  
5/11(金)17:00 ~  
■MH ●無料  
●080-2991-8994, xxxc5xxx@docomo.ne.jp (中澤)

**Message**  
「フィガロの結婚」に挑むことになり1年間研究、練習ともに積み重ねてきました。未熟な点も多くお聞き苦しい部分もあるかと思われすが、日頃の稽古の成果を十分に発揮し、満足のいく公演になるよう精一杯頑張ります。

**声楽有志自主演奏会** 5/26(土)16:00 ~  
●荒木 まりこ、今井 梨栄、歌枕 美和、宇野 美幸、大田 由花、金丸 史弥、神浦 ゆみ、木島 貴美、隈崎 のみ、下条 侑子、田村 美世子、判田 高、水川 琴音、宮地 奈々子、森田 ひかり、安田 真夏  
■MH ●無料 □edpf.i7@docomo.ne.jp(宮地)

**Message**  
2年間という限られた時間の中で、何か形に残るものをつくりたいと思い企画しました。有名なナンバーなども織り混ぜて、聴きに来ていただく皆さまに楽しんでいただける時間になりたいと思います。

### 学生自主演奏会

**第53回オペラ研究部2012研究発表会**  
W. A. モーツァルト「フィガロの結婚」  
5/11(金)17:00 ~  
■MH ●無料  
●080-2991-8994, xxxc5xxx@docomo.ne.jp (中澤)

**Message**  
「フィガロの結婚」に挑むことになり1年間研究、練習ともに積み重ねてきました。未熟な点も多くお聞き苦しい部分もあるかと思われすが、日頃の稽古の成果を十分に発揮し、満足のいく公演になるよう精一杯頑張ります。

**声楽有志自主演奏会** 5/26(土)16:00 ~  
●荒木 まりこ、今井 梨栄、歌枕 美和、宇野 美幸、大田 由花、金丸 史弥、神浦 ゆみ、木島 貴美、隈崎 のみ、下条 侑子、田村 美世子、判田 高、水川 琴音、宮地 奈々子、森田 ひかり、安田 真夏  
■MH ●無料 □edpf.i7@docomo.ne.jp(宮地)

**Message**  
2年間という限られた時間の中で、何か形に残るものをつくりたいと思い企画しました。有名なナンバーなども織り混ぜて、聴きに来ていただく皆さまに楽しんでいただける時間になりたいと思います。

### 学生自主演奏会

**第53回オペラ研究部2012研究発表会**  
W. A. モーツァルト「フィガロの結婚」  
5/11(金)17:00 ~  
■MH ●無料  
●080-2991-8994, xxxc5xxx@docomo.ne.jp (中澤)

**Message**  
「フィガロの結婚」に挑むことになり1年間研究、練習ともに積み重ねてきました。未熟な点も多くお聞き苦しい部分もあるかと思われすが、日頃の稽古の成果を十分に発揮し、満足のいく公演になるよう精一杯頑張ります。

**声楽有志自主演奏会** 5/26(土)16:00 ~  
●荒木 まりこ、今井 梨栄、歌枕 美和、宇野 美幸、大田 由花、金丸 史弥、神浦 ゆみ、木島 貴美、隈崎 のみ、下条 侑子、田村 美世子、判田 高、水川 琴音、宮地 奈々子、森田 ひかり、安田 真夏  
■MH ●無料 □edpf.i7@docomo.ne.jp(宮地)

**Message**  
2年間という限られた時間の中で、何か形に残るものをつくりたいと思い企画しました。有名なナンバーなども織り混ぜて、聴きに来ていただく皆さまに楽しんでいただける時間になりたいと思います。

## お知らせ

**2011年度 卒業(修了)式** 3/24(土)  
■ザ・カレッジ・オペラハウス  
●大阪音楽大学短期大学部卒業式  
開式 11:00  
●大阪音楽大学卒業式  
開式 14:00

**2012年度 入学式** 4/1(日)  
■ザ・カレッジ・オペラハウス  
●大阪音楽大学短期大学部入学式  
開式 11:00  
●大阪音楽大学入学式  
開式 14:00

**幸楽会 総会** 4/29(日)  
●2012年度総会 14:00  
■MH  
●懇親会 15:30  
■学生サロン「ばうぜ」

**ザ・カレッジ・オペラハウス**  
大規模改修工事のため、下記の期間ザ・カレッジ・オペラハウスは休館いたします。  
●工事期間  
2012年4月3日~9月25日(予定)

**ザ・カレッジ・オペラハウス**  
大規模改修工事のため、下記の期間ザ・カレッジ・オペラハウスは休館いたします。  
●工事期間  
2012年4月3日~9月25日(予定)

※ご家族さまなど関係者の参列も歓迎いたします。本学の駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用されるか、公共交通機関をご利用ください。

編集後記 次号は6月15日発行予定です

号の取材でもたくさんの素敵な卒業生の方にお話を聞くことができました。学生時代は「人生の中で心から音楽に没頭できる幸せな日々」であり「おかげで集中力が身に付いた」のだそう。充実した学生時代が今の活躍につながっているんですね。(は)

学校法人 大阪音楽大学広報誌「Muse」 vol.221 2012年4月15日発行  
●発行:学校法人 大阪音楽大学 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8  
TEL:06-6334-2131 FAX:06-6334-2141 <http://daion.ac.jp>  
●制作・編集:広報誌編集室 muse@daion.ac.jp  
●デザイン協力:(株)産業編集センター

## キャリア支援センター

**卒業後の自分をイメージできますか? 音楽を仕事にする、会社に勤める……。** 将来の自分をまだそこまで考えていないという方もまずは気軽にお越しください。何かが見えてくるかもしれません。

### スタッフとの世間話から 将来が見えてくるかも!?

キャリア支援センターという就職活動を始めの人にしか関係ない、と思いませんか? まだ実感がない人も、スタッフと話をすることで自分の将来像をイメージしやすくなることもあります。私たちスタッフが皆さん一人ひとりと向き合ってサポートします。何でも気軽に相談してください。また、相談窓口としてだけでなく参考になる資料の貸し出しもしています。求人情報はもちろん、就職活動対策、音楽の録音方法に関する本、講座やセミナーを録画したDVDなど何かしら役立つ資料にも出会えることでしょう。説明会やさまざまな講座も随時開催しています。気軽にのぞいてみてくださいね。(キャリア支援センター 磯口 友希)

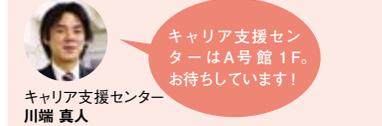


▶進路ガイダンスで配られる「キャリアハンドブック」。具体的な将来のイメージを描いてみよう

### まずは体験! 音楽の仕事情報館

「人前で演奏したい」「誰かに自分の演奏を聴いてもらいたい」——音楽を勉強している学生の皆さんなら誰もが考えることだと思います。そんな気持ちに形にできるのが「音楽の仕事情報館(通称OMSBI)」。

ジャンルも形態(ソロ、バンドなど)も問わない、誰でも(在学生か卒業生がメンバーに1人でもいれば可)参加可能なライブハウスイベントに出演し、その時の録画映像をもとに選抜されれば、学外のさまざまな場所で演奏活動を行うチャンスを得ることができます。演奏活動といっても、実は演奏以外にやらなければいけないことが山ほどあるのですが、学生時代にそれらを体験できるのはとても貴重な機会。興味がある! という方、まずは話を聞くところから、とにかく行動してみませんか。



キャリア支援センターはA号館1F。お待ちしております!

キャリア支援センター 川端 真人

# CAMPUS Information

学内の各部門・施設から、学生生活に役立つ情報をお届けします。

## 学生支援センター

**自分**が頑張った成果を数字で確認。成績をもらったらぜひチェックしてほしい項目をご紹介します。

**GPAとは? 成績表を深く読む**

大学での学修成果を明確に数字で確かめたい。そんな時に役立つのがGPA(グレード・ポイント・アベレージの略)。成績評価をそれぞれ「秀」=4「優」=3「良」=2「可」=1「不可」=0の数字に置き換え、単位数を掛けて受講単位数で割ったもので、成績表の右下に表示されています。

もともとアメリカで広く普及しているこの制度。他人と比べるものではなく、自己の成績の推移をチェックするのに最適で、数字の増減により前回の成績とひと目で比べることが出来ます。今後の励みにぜひ活用してください。GPAについてより詳しく知りたい方は「履修ガイド」を参照してください。

GPAも参考に次 semesterの学修計画を立ててみよう!

教務 森岡 周平



## 連携支援センター

**連携支援センター**では、主に社会人に向けての公開講座を開催しています。

**大阪音楽大学 カレッジ・オペラ講座2012 オペラ物知り講座**

テーマ:師匠から弟子へ伝えたいもの〜師匠の活躍に続け〜  
構成・お話:中村 敬一  
各回:18:30~20:30  
場所:ミレニアムホール  
受講料:1000円 4回一括 3500円

- 第1回 5月15日(火)  
演奏:林 誠、小林 峻、阪本 朋子
- 第2回 7月24日(火)  
演奏:渡邊 弓子、高嶋 優羽、中川 正崇、関口 康祐
- 第3回 10月2日(火)  
演奏:田中 勉、西村 圭市、関口 康祐
- 第4回 2013年1月22日(火)  
演奏:阪上和夫、柴山 愛、西尾 麻貴

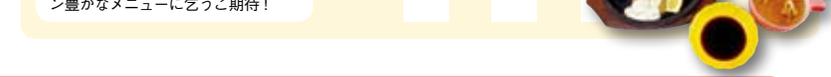
**お申し込み・お問い合わせ**  
大阪音楽大学 連携支援センター TEL 06-6334-2249 <http://daion.ac.jp>  
※2012年9月までオペラハウス改修工事のため、「一般社会人のためのオペラ講座」は10月4日~11月8日に開講いたします。詳細は次号にてお知らせいたします。

## ほっと一息 学生サロン「ばうぜ」

**新** 入学、そして在学生の皆さん! レッスンや授業の合間に、ほっとひと息つける場所。それは学生サロン「ばうぜ」です。リーズナブルでおいしい定食やカレー、うどんや焼きたてパンが味わえます。

**新** 4月9日(月)、10日(火)、11日(水)の3日間、新入生お祝い特別メニューが登場します。その名も「ステーキセット」! メインはサイロステークにエビと魚のフライという豪華版。それにサラダ、コンソメスープ、ライス、デザート(いちごムースの予定)までセットになってなんと500円! 実はここだけの話、赤字覚悟の大サービスだそう。4月末にはバスタフェア、5月は大好評のカレーフェアを予定しています。毎日食べても飽きない、バリエーション豊かなメニューに乞うご期待!

**新** 4月9日(月)、10日(火)、11日(水)の3日間、新入生お祝い特別メニューが登場します。その名も「ステーキセット」! メインはサイロステークにエビと魚のフライという豪華版。それにサラダ、コンソメスープ、ライス、デザート(いちごムースの予定)までセットになってなんと500円! 実はここだけの話、赤字覚悟の大サービスだそう。4月末にはバスタフェア、5月は大好評のカレーフェアを予定しています。毎日食べても飽きない、バリエーション豊かなメニューに乞うご期待!



Museに出演してくれる学生さんを大募集中です! 「このコーナーに出たい」「こんなことをしているので取り上げてほしい」などmuse@daion.ac.jpまでメールでお送りください。参加して下さった方にはDAIONオリジナルグッズを差し上げます!

### 3度目最後の卒業を迎えて

46年間に担当したレッスンや授業のこと、「スケール・アルペジオ」の楽譜の編集に参加した時のことなどが今、走馬灯のように思い出されます。貴重な体験をさせていただいた学生部長を辞すとき、部内の皆さんが卒業式をしてくださいました。今回が私には本学3度目最後の卒業になります。本当にありがとうございました。ピアノ専攻の新しい企画が順調に歩み出しますように、そして伝統ある大阪音楽大学がいつまでも発展し続けますようお願いしています。



川上 孝子教授

ピアノ

### かけがえのない大切な思い出

今振り返ってみると、大阪音大での日々はまたたく間に過ぎ去ってしまったように感じます。多くの学生たちと出会い、さまざまな方々と一緒に過ごした歳月は、私にとって大変勉強になり、かけがえのない大切な思い出となっています。

これまで本当にありがとうございました。

ヴァイオリン



前橋 汀子教授

## 退任教授挨拶

3月をもって退任される先生方からメッセージをいただきました

教職

### 想定外の人生



藤田 隆教授

高等学校のころは理工系を進んでいたのですが、音楽の道に進みたくなくて音大を目指しました。

ファゴットで音大に入り、バロックの研究からリコーダーに興味をわき、3年生からフルートに転専攻をして卒業。フルートで副手、助手と大学に残していただいたのですが、教職部会でリコーダーをやりたいと勧められ現在に至っています。本当に皆さまのおかげで今があることを痛感しています。46年間ありがとうございました。

教養教育

### 素晴らしい大阪音楽大学



水瀧 征矢雄教授

42年間の在職中に変わったもの変わらないものを挙げたら枚挙に暇がありませんが、大きくは国の政策や受験者・保護者など高等教育全体の動向と大学との相互関係が重要であると思います。

これからは本学を機会あるごとに素晴らしい大学であると言いつけたいと思います。ありがとうございました。

いぐち じゅんこ ● 専門は音楽学(民族音楽学)、大阪大学大学院文学研究科博士課程(文学博士)。中国農村のほか、近年は上海を主なフィールドとして現地調査を行っている。著書のうち2冊は中国語でも刊行されている。詳しくは <http://wind.ap.teacup.com/gujin/>

## 活気あふれる上海にみる「音楽市場」としての大きな可能性

音楽学・教授 井口 淳子

教員  
リレー  
エッセイ  
Vol.3

### 数

年より「大阪と上海の音楽受容の比較」というテーマで研究を進めています。時代的には1920年代から40年代が中心になるのですが、この時期ロシア革命を逃れたロシア人音楽家が上海や大阪で洋楽受容に大きな役割を果たしました。その後、ユダヤ人音楽家も上海では「20世紀音楽」を伝えるなど活躍することになります。この時代、上海はアジアの洋楽先進地域だったのです。

昨年は科学研究費補助金を得て、8、9月と12月、3度にわたって資料調査を行いました。特殊な図書館での作業はとても疲れますが、作業を手伝ってくれる上音(上海音楽学院)の大学院生たちとの交流など、楽しみもたくさんあります。

9月の調査の最終日は、午前10時から1時間半、上海音楽学院で「20世紀前半、上海と大阪における洋楽受容の比較研究」と題する講義(全学対象を行いました)。上音は在学生の中から国際コンクールの入賞者を出す、中国でも中央音楽学院(北京)と並ぶトップクラスの音楽学院です。学院は並木道が美しい旧フランス租界の中心部にあります。新しい

ビルが次々とキャンパス内に増えていて活気にあふれています。講義が終わると、学生たちから時間いっぱい鋭い問いかけが寄せられました。外見は日本の学生と違わないのですが、上音の学生(多くは上海以外の地方出身者)はとても積極的に大胆です。ためらうことなく、さまざまな疑問をぶつけてきます。そして終了時には「記念撮影を」と携帯電話片手の学生たちに囲まれました。

中国のみならず、今、アジアの国々は西洋音楽に熱い視線を送っています。まだまだ良い音楽教師は少なく、日本のような成熟した洋楽文化が育っているわけでもありません。そこに「音楽市場」としての大きな可能性があり、音大生に活動のチャンスがあると思います。

行って、見て、聞かなければ何もわかりませんし、始まりません。片道2時間半の上海で、発見できることがたくさんありますよ。

今回は藤井快哉先生(ピアノ・助教)にお願いいたします。演奏会の素敵なプログラムがいつも気になっています。



上海音楽学院に貼られた講義の告知ポスター。なぜか大阪城の写真が使われたそう